



幼児期における「学び」の持つ意味は、親・保育者・仲間に支えられていることです。そして、遊びは無限の可能性を持っています。遊びには、発達の栄養素がたくさん入っており、遊びで得た自己肯定観・自己有能観が次の学びを支えます。

この夏は、夜の動物園探険のプログラムをみんなが楽しみに待って参加してくれました。昨年参加してくれた小学生の提案でチラシ作り、ポスター作りをしてくれて、そして口コミの宣伝がとても大きな糧になりました。参加人数大人の参加も混ぜて総勢42名、そのうち16名の子どもたちが泊まりました。

すごく楽しそうと感じる口コミの宣伝に、昨年足踏みしていた子どもたちがとても乗り気、「楽しみー」の気持ちが持続したまま当日を迎えることができました。友だちとのつながり、友だちの支えは、大きいですね。

小学生の企画『段ボール迷路』をするために前もって準備をしてくれた小学生、当日準備が追い付かずどうするのかと思ったら、お化け屋敷に予定変更…その柔軟さにみんながついて遊びを盛り上げていくからすごいですね。遊ぶ力、遊びには終わりはなく、どんどん続きが見えてくる発展させる力を備えている子どもたちでした。「できなかった」はなく、いろいろ変化させながら「おもしろかった」が続く自己肯定観・自己有能観をここで得ていく子どもたちでした。

小学生に遊び方を学び、自分たちの遊びに取り入れていく力も備え持っている保育室の子どもたちです。これからの遊び力が楽しみです。

※今年は、他の幼稚園・保育所・小学生の子どもたちが預かり保育と一緒に活動をしました。そこで感じたことは、創造する力が保育室すまいるの子どもたちは備わっているということです。遊んでいる中で自分で考え、自分で作ることを常にしているので、手先も器用、作り出す・工夫する力が育っていることを感じました。この力を大切にさらに育てたいと思っています。



乳幼児教育とは、遊びを中心に  
人間として生まれ、生涯生きていく  
「アイデンティティ（自我）形成」作りの  
スタートを切る教育です。



基本保育時間は、

7:00~19:00 です。

7:00~7:30、  
18:30~19:00

の利用の場合は、  
お知らせください。

